

<募集要項>

NTS2025 オンラインチャレンジ (U16)

趣旨

ハンドボール経験者および未経験者を問わず、国際舞台で活躍できる極めて優秀なタレントの発掘をト
ライアウト方式で行う。特に、「形態」および「体力」に極めて優れた選手を発掘することを目指す。

このオンラインチャレンジは、2023 年度までのチャレンジトレーニングの名称を変更した事業である。このオンライン
チャレンジで選考された将来有望な中学 2・3 年生の選手は、2025 年度 NTS センタートレーニングに参加すること
ができる(2026 年1月15日(木)～18日(日) 於、味の素ナショナルトレーニングセンター<予定>)。将来有望な
高校 1 年生の選手は、令和 7 年度の NTA 活動に招聘される。

主催:公益財団法人日本ハンドボール協会

主管:公益財団法人日本ハンドボール協会 NTS 専門委員会

1. 期間

2025 年 9 月 1 日(月)12:00~2025 年 10 月 31 日(金)23:59

2. 参加資格

- (1) ハンドボールと仲間を愛し、自らの成長を目指して努力を楽しめる者
- (2) 将来、日本代表として国際舞台での活躍を目指す者
- (3) 日本国籍を有する者あるいは日本国籍を有する見込みの者
- (4) 育成パスウェイへの参加義務を順守できる者(補足資料「1.1.育成パスウェイ」参照)
- (5) 対象学年

カテゴリ	対象学年
U16	中学 2 年生・中学 3 年生・高校 1 年生

※都道府県ハンドボール協会等の推薦は必要ありません。

- (6) ハンドボール経験の有無は問わない。

※誠に申し訳ありませんが、けがをしている選手は、ご応募を自粛くださいますようお願いいたします。

3.選考内容

下記の項目を自己測定あるいは撮影してください。測定結果は応募時に Web で入力、撮影 VTR は YouTube へアップロードしてください。**2022 度より、選考は競技パフォーマンス（プレー動画）より、形態および体力を優先し、選考が行われます。**競技パフォーマンスに優れた選手の選考については、全国大会等に、NTS 専門委員および NTA 専門委員が視察を行う予定です。

<オンラインチャレンジで選考された選手は、今後育成パスウェイの中で★がついた項目について、日本ハンドボール協会 HP にて公表することがあります。あらかじめ、ご了承ください。>

(1) 形態

①身長★ ②体重 ③利き腕★ ④靴のサイズ ⑤2023 年（およそ 1 年前）の身長 ⑥2022 年（およそ 2 年前）の身長 ⑦母親の身長（任意） ⑧父親の身長（任意）

(2) 体力★

①30m走 <https://youtu.be/UOKTzHmAcW4>

②立ち幅跳び <https://youtu.be/ABiZPnXBqEw>

③ハンドボール投げ <https://youtu.be/BpOAFZJgdkw>

④イリノイテスト <https://youtu.be/OnnIOm-M94Q>

⑤垂直飛び <https://youtu.be/G5J5H6I29cY>

最高到達点（地面からタッチした高さ）ではありません。最初に腕を伸ばした地点から、タッチした高さまでを申告ください。ご注意ください。

⑥コートシャトルテスト https://youtu.be/FHN_XypWR3Y 屋内で測定する場合、40mのコートで測定ください。

測定方法詳細についてはこちら http://www.handball.or.jp/training/doc/nts2019/2019nts_sokutei.pdf
形態と体力のポイント

2022 度より、形態と体力については、ポイントにより評価します。これまでの形態および体力測定の結果から、スコア化しポイントを設定した（スコア 50 が平均値である。）。形態に重点化した配点となっています。

形態も体力についても、自己測定および自己申告の形式となります。正確な測定方法で測定すること、正確な数値を申告することをお願いいたします。**センタートレーニングにおいて、形態と体力の測定を行います。虚偽の申告をした場合は、虚偽が露呈し選手が傷つくことになります。**応募者のスポーツマンシップにより、チャレンジトレーニングが成立していることをご認識ください。

男子

スコア	身長	ポイント	30m 走	ポイント	立幅跳	ポイント	立投球	ポイント	イリノイ走	ポイント
35	168.6	1	4.65	1	211.9	1	28.3	1	17.69	1
40	171.5	1	4.54	2	220.9	2	30.9	2	17.26	2
45	174.3	1	4.42	3	229.8	3	33.4	3	16.83	3
50	177.1	3	4.31	4	238.8	4	36.0	4	16.40	4
55	179.9	5	4.20	5	247.8	5	38.5	5	15.98	5
60	182.7	8	4.09	6	256.7	6	41.1	6	15.55	6
65	185.6	10	3.98	7	265.7	7	43.6	7	15.12	7
70	188.4	10	3.87	8	274.6	8	46.2	8	14.69	8
75	191.2	10	3.76	9	283.6	9	48.7	9	14.26	9
80	194.0	10	3.65	10	292.5	10	51.3	10	13.83	10

女子

スコア	身長	ポイント	30m 走	ポイント	立幅跳	ポイント	立投球	ポイント	イリノイ走	ポイント
35	155.0	1	5.32	1	168.6	1	19.5	1	19.41	1
40	157.7	1	5.16	2	178.0	2	21.3	2	18.88	2
45	160.4	1	4.99	3	187.3	3	23.2	3	18.36	3
50	163.1	3	4.83	4	196.7	4	25.1	4	17.83	4
55	165.8	5	4.66	5	206.0	5	26.9	5	17.31	5
60	168.5	8	4.49	6	215.4	6	28.8	6	16.78	6
65	171.2	10	4.33	7	224.8	7	30.7	7	16.26	7
70	173.9	10	4.16	8	234.1	8	32.5	8	15.73	8
75	176.6	10	4.00	9	243.5	9	34.4	9	15.21	9
80	179.3	10	3.83	10	252.9	10	36.3	10	14.68	10

※「ハンドボール投げ」の使用球は、当該カテゴリで使用しているボールを使用します。

※身長の年次変化も参考とします。

※いただいた個人情報は厳重に管理し、本チャレンジトレーニング以外の目的には使用いたしません。

(3)「Basic7」と「Basic7 PLUS」

「[Basic7](#)」と「[Basic7 PLUS](#) (テキスト 8 ページ)」ができること。

(4) プレー動画および自己 PR 動画★

詳細は、「5. プレー動画および自己 PR 動画」をご確認ください。

4.応募方法

インターネットでの応募とします。

下記 URL より、お申し込みください。

正しく申し込みが終了すると自動返信メールが届きます。

メールアドレス等の設定（ブロックなど）には、ご注意ください。

申し込み確認のご連絡にはお応えしかねますので、十分にご注意ください。

<URL> <https://forms.gle/Wn76QgGQP1ESASZc6>

申し込み期間 **2025 年 9 月 1 日(月) 12:00~2025 年 10 月 31 日(金) 23:59**

5. プレー動画および自己 PR 動画の撮影方法と提出方法

すべての動画を編集してひとつの動画にまとめ、YouTube へアップロードしてください。公開設定は、「限定公開」でもかまいません。

インターネットでの応募時に、YouTube のリンクを入力していただきます。

選考された選手の映像は、日本協会 HP を通じて配信いたします。

(1) コートプレーヤー

①シュート(ステップ・ランニング・ジャンプ・倒れこみなど) 30 秒以内

GK とパスサーを配置し、シューター利き腕側の斜め前方から撮影ください。

②フェイント(ステップワークによるフェイント・シュートフェイントなど) 30 秒以内

ディフェンスを配置し、下記の 2 つのフェイントを、オフENSEの選手の後方から撮影ください。

a. パスサーとのパス交換からフェイント

b. ドリブルからフェイント

③試合動画 1 分以内

試合動画を編集して、好プレー集を作成ください。

シュート、アシスト、ディフェンスなんでもかまいません。

動画内で大会名、対戦相手名を表示ください。

可能であれば、字幕や矢印や図形(○で囲む)等で、選手をお示しください。

練習試合でもかまいません。

④自己 PR 30 秒以内

(2) ゴールキーパー

①いろいろなシュートのキーピング 1 分以内

- a.ロング・ミドルシュート
- b.ウイングシュート
- c.ピヴォットシュート
- d.ノーマークシュート(速攻)

シューターの後方から、撮影ください。

②試合動画(実際の試合の動画) 1分以内

試合動画を編集して、好プレー集を作成ください。

動画内で大会名、対戦相手名を表示ください。

「相手シューターがパスを受ける少し手前」から「ゴールキーパーのセーブ」までを編集ください。

「速攻へのロングパス」があることが望ましいです。

練習試合でもかまいません。

③自己PR 30秒以内

参考動画 過去のNTA推薦選手

<https://www.youtube.com/watch?v=8KN97SeZyoQ>

6.参加料

無料

7.合格通知

合格者には、2025年12月中旬までにメールにて通知します。

メールアドレス等の設定には、ご注意ください。申込者のメールアドレスの受信設定の不具合等により、メールが届かず、参加ができないことがあっても、当方は責任を負いませんので、十分にご注意ください。**また、合否結果の理由については、公開いたしません。**

合格通知発信メールアドレス nts@japan-handball.jp

9.免責事項

日本ハンドボール協会は、当オンラインチャレンジにおいて下記のように免責事項を定めさせていただいております。安全に最大限に努めてまいりますが、何卒免責事項にご理解賜りますようお願いいたします。

(1) 当オンラインチャレンジにおいて、発生した事故や怪我・病気などの責任を負いかねますことをあらかじめご了承ください。各自の責任において保険への加入を行ってください。

(2) 医師の診断等を受けて運動の禁止あるいは注意を受けていた場合は、当オンラインチャレンジへの参加はできません。また、当方ではその責任を一切負いません。

10.注意事項

日本ハンドボール協会は、当オンラインチャレンジにおいて下記の注意事項を定めております。ご理解いただきますようお願いいたします。

- (1) 当オンラインチャレンジで撮影された画像や映像を当協会公式インターネット媒体で使用する場合があります。
- (2) トレーニングで収集される体力データ等(アンケート含む)は、個人を特定できないように処理したものを、学会や学術誌、メディア等で発表する場合があります。

11. 注意事項

【本件にかかるお問い合わせ】

日本ハンドボール協会

発掘育成委員長

仲田 好 邦

nts@japan-handball.jp

<補足資料>

10. 育成パスウェイについて

NTS センタートレーニングに選出された選手は、日本ハンドボール協会が定める育成パスウェイに必ず参加しなければなりません。

育成パスウェイとは、国際舞台での活躍が期待できる将来有望な選手育成するためのプログラムを示したものです。絵選手の発育発達段階に応じた育成プログラムが構成されています。育成プログラムとは、主に NTS センタートレーニングおよび NTA（ナショナルトレーニングアカデミー）事業を指します。

NTS では、育成パスウェイに参加する選手の発掘プログラムとして、「チャレンジサーキット」と「オンラインチャレンジ」を実施します。「チャレンジサーキット」は、集合方式で行うトライアウトです。「オンラインチャレンジ」は、2023 年度まで実施されていた「チャレンジトレーニング」から名称を変更したものです（オンラインでのトライアウト）。広く多くの優秀な選手を発掘するため、日本ハンドボール協会が多様なプログラムを準備しています。より多くの優秀な選手が参加することを願っています。

・チャレンジサーキットおよびオンラインチャレンジに参加した中学3年生以下の選手で優秀な選手は、NTS センタートレーニング（2026 年1月15日～18日）に推薦されます。会場は、ANTC（味の素ナショナルトレーニングセンター）を予定しています。NTS センタートレーニングの参加料は無料ですが、宿泊費・交通費・食費等は自己負担の可能性あります。

・チャレンジサーキットおよびオンラインチャレンジに参加した高校1年生で優れた選手は、NTA（ナショナルトレーニングアカデミー）事業に推薦されます。

・チャレンジサーキットとオンラインチャレンジの両方に応募することも可能です。

※競技パフォーマンスに優れた選手の選考については、全国大会やブロック大会等に、NTS 専門委員および NTA 専門委員が視察を行う予定です（上図の大会視察）。

11. NTS センタートレーニングについて

推薦人数

男子 30 名程度 女子 30 名程度

選考について

日本ハンドボール協会 NTS 専門委員会にて選考し、センタートレーニング参加選手を決定します。

◆フィールドプレーヤー

（1）形体および体力測定結果

（2）オフェンス（ディスタンスシュート・サドンシュート・ウイングシュート・ピボットシュート・速攻（1 次/2 次/3 次）・デュエル（1:1）・スクリーン・オフザボール・状況判断/連携連動・卓越したパス・卓越したドリブル

（3）ディフェンス（ハードコンタクト・フットワーク・予測かけひき）

（4）人間力（リーダーシップ・ロールモデル・コミュニケーション）

（補足 1）ウイングプレーヤーやピボットプレーヤーであっても、バックコートポジションでプレーができる場合は加点とする

（補足 2）オフェンスにおいて、デュエル（1:1）の際にフェイントモーションから、サドンシュートが打てると加点とする

(補足 3) ウイングプレイヤーであっても、トップディフェンスやハーフディフェンス(2 枚目ディフェンス)ができることが望ましい

◆ゴールキーパー

- (1) 形体および体力測定結果
- (2) ポジショニングスキル(構え方、細かいステップワーク、シュートアングル、セーブする範囲の理解)
- (3) ディフェンスとの連携(シュートコースの見極め、ディフェンスの理解)
- (4) セーブスキル(予備動作がない、ボールに体の中心を寄せる、ジャストタイミング)
- (5) ファストブレイクスキル(状況判断、スローイング)
- (6) フィジカルスキル(体幹が安定、柔軟性、ジャンプ力、スピード・瞬発力)
- (7) 人間力(リーダーシップ・ロールモデル・コミュニケーション)



(公財) 日本ハンドボール協会は、NTS・NTA・J-STAR の事業を通じてハンドボールの価値を高めスポーツの未来を創造し、前途有為な日本代表を輩出していきます。